

妊婦さんのケース 妊娠中のアトピー性をコントロール

27才 入院 2012.2.17~5.6 2012.秋 出産

23歳頃から赤み・痒みが顔、肘、腹部に生じるようになり、近医皮膚科にてステロイド外用治療開始。特に冬季になると悪化していた。

1年前に結婚した。妊娠希望もあり入院40日前から脱ステしたが、1ヶ月前から皮膚炎が悪化。全身性に皮膚炎が生じ、発赤、痒み、滲出液も出るようになり夜間も眠れなくなった。

入院10日前、妊娠が分かったがステロイドも使えず、そう痒も我慢できない状態で2012.2.17入院、BSCを始めた。

IgEが上昇しないタイプのアトピー性皮膚炎ですが、BSCによく反応しています。

TARCは2ヶ月で10分の1に低下、妊娠中では内服も外用ステロイドも使用しにくいいため、BSCを使用せざるを得ないケースは多いと思われます。

このケースも退院後も入浴ケアを継続し無事出産した。

妊娠後期の破水や出産直後の産褥期は、2週間程度はBSCを控えた方が良いのではないかと考えます。

	正常値	2012.2.14	2.24	3.8	4.17
TARC	450以下	6317	—	1533 ↓	664 ↓
LDH	120~245	338	303	239 ↓	219 ↓
IgE	170以下	13	—	22	22
好酸球	7%以下	22.0	15.9 ↓	9.7 ↓	7.0 ↓

2/17



5/3

